

I T活用地理歴史科学習指導案

作成者 教育センター指導主事

1. 校 種 高等学校

2. 対象生徒 第3学年

3. 教科等 地理歴史科・世界史B

4. 単元名 21世紀に生きる私たちの課題

5. 単元の指導計画（総時数8時間）

第一次 パレスティナ問題（4時間）

1時 パレスティナ問題の原因 . . . 本時

2時 協議～なぜパレスティナ問題は発生したのか、なぜパレスティナ問題は解決されないのか

3時 課題別調査

4時 調査結果発表・再協議

第二次 地球温暖化問題（4時間）

6. 本時の学習

(1) 題 目 パレスティナ問題の原因

(2) ねらい

19世紀末から現在に至るパレスティナをめぐるアラブとユダヤの対立を整理し、パレスティナ問題の原因を世界的な視点から多面的に考えることができる。

【思考・判断】

(3) I T教材を使う意図

長期間に及ぶ領土の変遷などを扱う場合、図説や教科書では別のページに関連する地図が収録されており、一度に参照することが難しい。また、教師が板書で示そうとすると、複雑な地形を複数枚書くことは技術的にもスペース的にも無理な場合が多い。しかし、I T教材として関連する地図だけをまとめておけば、効率よく提示でき、生徒と教師が同じ地図を見ながら学習を進めることができる。

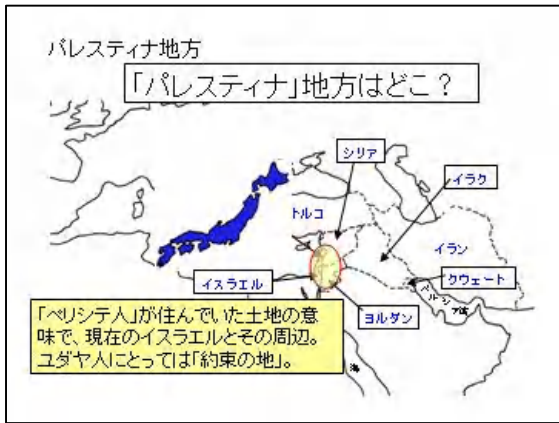
世界史では生徒が直接経験できない外国を扱うことが多く、写真画像を交えることで、イメージ化を促すことができる。

(4) 使用ソフト Microsoft 社 PowerPoint2002

(5) 展 開

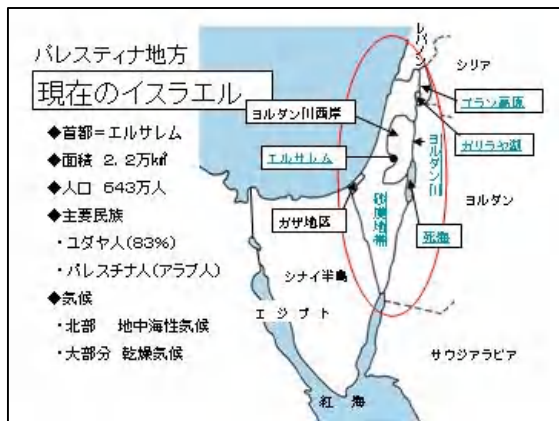
欄	学習過程	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
5分 導入	1 現在もパレスティナ問題が存続していることをつかむ	○パレスティナ地方においてパレスティナ人(アラブ人)とユダヤ人が争っていることを理解する	・新聞記事を用いて、紛争の場所と主体者を確認する	
42分 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・アラブ人とユダヤ人は何を争っているのだろうか ・パレスティナ問題は、なぜ発生したのだろうか 			
	2 パレスティナについての基本事項を確認する	○パレスティナ地方の位置、地名、特色など基本事項を知る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・地図を用いてパレスティナがどのような土地であるかをおさえる ① </div>	【思考・判断】 「ユダヤ人がアラブ人から土地を奪ったから」だけでなく、世界的な視点から原因を指摘できる (ワークシート)
	3 パレスティナにおける領土の変遷を理解する	○19世紀から現在までのパレスティナにおける領土の変遷過程を知り、アラブとユダヤの双方の立場でまとめ、ワークシートに記入する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・地図を用いて、イスラエル建国までの経緯と、中東戦争およびその後の和平交渉による領土の変遷を説明する。② </div> ・アラブとユダヤの双方の視点で領土関係の変化をまとめるよう指示する	
	4 現時点での未解決な問題を理解する	○現在の争点は大きく3つあることを理解する。	・現在の争点を整理する <ul style="list-style-type: none"> ・エルサレム問題 ・難民問題 ・入植地問題 	
	5 パレスティナ問題の原因を予想する	○パレスティナを巡る争いを振り返り、なぜこのような問題が生じたのかを考え、ワークシートに記入する	・パレスティナ問題の原因を考えるよう指示する ・直接的な原因だけでなく、間接的な原因も考えるよう促す ・意見が書けない生徒には、ヒントとなる発問をする	
3分 まとめ	6 次時の学習内容	○次時の学習内容をつかむ	・次時は、パレスティナ問題の原因について意見交換を行い、なぜパレスティナ問題が解決されないのかについて考えることを知らせる	

(6) IT教材の説明



①について

- ・現在の中東の地図を表示し、「パレスティナがどこであるかを示す。
- ・○を表示して、パレスティナの地域と地名の由来を述べる。
- ・同緯度同縮尺の日本を表示し、大きさや気候のイメージづくりをたすける。

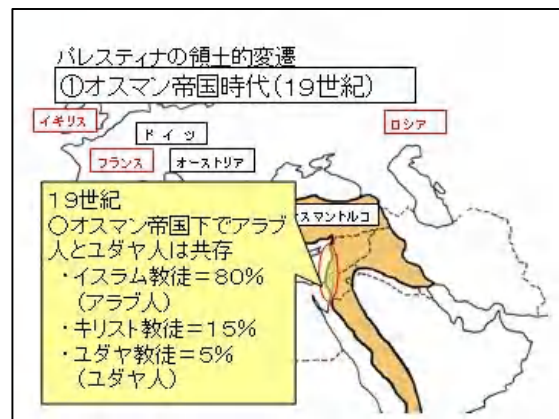


①について②

- ・現在のイスラエルを中心とする地図を表示し、基本データを紹介する。
- ・パレスティナ問題を扱う時に必要な地名等を確認する。

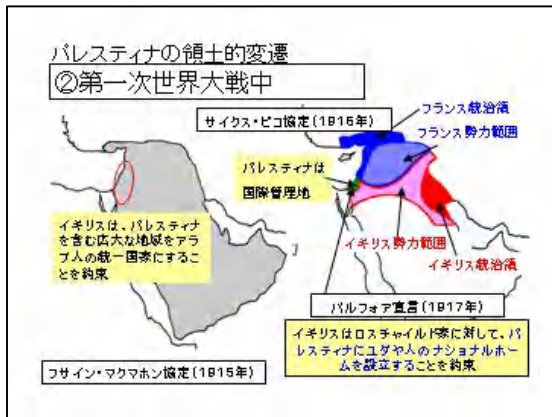


- ・地名をクリックして写真画像を表示し、国土の様子をイメージさせる。また、エルサレムの宗教的特殊性に注目させる。



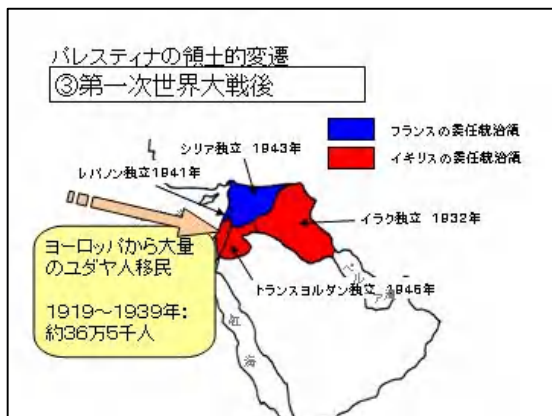
②について

- ・19世紀半ばの中東の地図を表示し、当時パレスティナはオスマン帝国下であり、アラブ人もユダヤ人も共存していたことを説明する。
- ・ユダヤ人の人口比が少ないことにも注目させる。



②について(2)

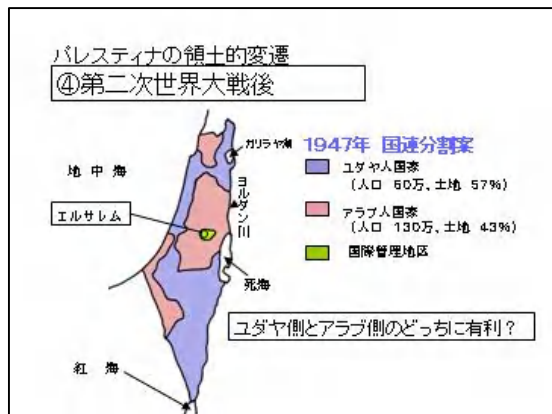
・第一次世界大戦中にイギリスが展開した外交によって、パレスティナを巡る問題が複雑化したことを説明する。



②について(3)

・戦後、バルフォア宣言をうけて、ヨーロッパから大量のユダヤ人がパレスティナへ移住したことを説明する。

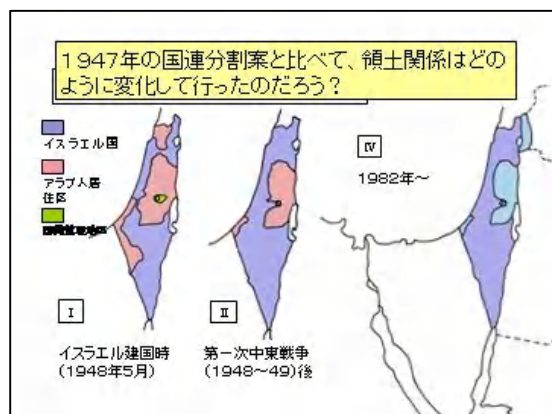
・英仏の委任統治下に置かれた地域では、レバノン・シリア・イラク・トランスヨルダンがアラブ人国家として独立していたことを説明する。



②について(4)

・国連分割案 (パレスティナをアラブ人国家とユダヤ人国家に分割する案) を図示する。

・国連分割案はユダヤ人側に有利であることに気付かせる。



②について(5)

・中東戦争による領土の変遷を表した地図を図示する。

・3枚の地図を比べて、イスラエルがパレスティナ地方におけるアラブ人居住地をすべて占領したこと、その中にはエルサレムが含まれることに気付かせる。

・パレスティナ人の多くが難民となったことに気付かせる。